

水道事業

区 分	平成30年度	平成29年度			算 出 方 法
		久留米市	全国平均	類似規模平均	
長期的健全性					
1 固定資産構成比率(%)	88.1	88.8	89.1	87.5	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$
2 固定負債構成比率(%)	21.3	21.7	24.5	27.3	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$
3 自己資本構成比率(%)	74.9	75.1	71.4	68.7	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{総資本}} \times 100$
4 固定資産対 長期資本比率(%)	91.6	91.8	93.0	91.2	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$
5 固定比率(%)	117.6	118.3	124.9	127.5	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$
短期的支払能力					
6 流動比率(%)	310.5	342.8	261.0	307.8	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
7 当座比率(%)	309.5	340.3	249.1	293.5	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$
8 現金比率(%)	267.7	293.3	223.0	263.7	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$
資産・資本の有効利用等					
9 自己資本回転率(回)	0.1	0.1	0.1	0.1	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) \div 2}$
10 固定資産回転率(回)	0.1	0.1	0.1	0.1	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) \div 2}$
11 当年度減価償却率(%)	3.8	3.8	4.1	4.1	$\frac{\text{当年度減価償却額}}{\text{固定資産(有形+無形)} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却額}} \times 100$
利益率・収益性					
12 総資本利益率(%)	1.4	1.7	1.2	1.4	$\frac{\text{当年度経常利益} - \text{当年度経常損失}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本}) \div 2} \times 100$
13 総収支比率(%)	115.1	118.9	113.3	113.8	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
14 経常収支比率(%)	115.2	118.8	113.5	113.9	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
15 営業収支比率(%)	111.9	116.0	106.2	105.9	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$

経営分析表

区 分	平成30年度	平成29年度			算 出 方 法
		久留米市	全国平均	類似規模平均	
企業債関連					
16 利子負担率(%)	1.2	1.3	2.0	1.9	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債} + \text{一時借入金}} \times 100$
17 企業債償還元金対減価償却額比率(%)	51.3	47.0	53.4	53.5	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$
18 企業債償還元金対料金収入比率(%)	16.5	14.9	20.7	19.9	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{料金収入}} \times 100$
19 企業債利息対料金収入比率(%)	2.5	2.7	5.7	5.6	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{料金収入}} \times 100$
20 企業債元利償還元金対料金収入比率(%)	19.0	17.5	26.4	25.5	$\frac{\text{建設改良のための企業債元利償還元金}}{\text{料金収入}} \times 100$
職員関連					
21 職員給与対料金収入比率(%)	11.8	10.9	11.5	12.4	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{料金収入}} \times 100$
22 職員一人当たり営業収益(千円)	75,135	74,128	74,897	68,088	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
23 職員一人当たり有形固定資産(千円)	497,164	482,635	569,759	489,364	$\frac{\text{期末有形固定資産}}{\text{損益勘定所属職員数} + \text{資本勘定所属職員数}}$

(備考)

- 1 総資本は、負債と資本との合計額を用いて算出している。
- 2 No.9の自己資本は、資本金、剰余金、評価差額等及び繰延収益の合計額を用いて算出している。
- 3 No.21の職員給与対料金収入比率の算出要素である職員給与費は、損益勘定所属職員に係る給与費を用いている。
- 4 類似規模平均欄の数値は、本市と類似規模の都市である給水人口15万人以上30万人未満の市の水道事業者の平均値を表している。
- 5 全国・類似規模平均欄の数値は、「地方公営企業年鑑」(総務省)の「第1編 第3章 1.水道事業(19)水道事業集計表(法適用)」の数値を用いている。